

おだか

第25号
2015
平成27年12月17日(木)

南相馬市
小高小学校
学校だより

学校評価の結果について

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

小高小では、学校運営の反省と改善のために、子どもたちや保護者の皆様に毎年アンケートを実施し、評価をいただいています。今回は、保護者の皆様にお願ひしたアンケートの結果がまとまりましたので、お知らせします。

評価は、以下の「A B C D」の4つの選択肢から選んでお答えいただきました。数値は、「%」です。「H26」は昨年度の調査結果で、「H27」は今年度の調査結果です。選択肢は、以下のとおりです。

A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：思わない

I 学校経営に関すること			A	B	C	D
①	学校は児童の様子を良く伝えている。	H26	70	30	0	0
		H27	69	31	0	0
②	学校は安全安心について、気を配っている。	H26	65	35	0	0
		H27	63	37	0	0
③	学校は児童の学力向上を目指した指導をしている。	H26	55	45	0	0
		H27	55	43	2	0
④	教職員は児童の教育に熱心に取り組んでいる。	H26	62	38	0	0
		H27	61	37	2	0
⑤	教職員は子どものことについて相談にのってくれる。	H26	70	30	0	0
		H27	69	29	2	0

昨年度と比較すると大きな変化はありません。今年も「A」「B」の評定が多く、学校経営全般により評価をいただいています。今後も、引き続き、子どもたちの相談に積極的に耳を傾け、学校の様子を保護者の皆様に伝えたいと思います。学力向上については、「落ち着いた学習環境を作る」ことや「ともに学ぶ姿勢づくり」などを通して工夫・改善に努めます。



II 児童に関すること			A	B	C	D
①	元気に登校している。	H26	70	28	2	0
		H27	67	27	4	2
②	あいさつや返事がよくできている。	H26	30	47	23	0
		H27	31	55	14	0
③	家庭学習をがんばっている。	H26	28	50	22	0
		H27	27	49	20	4
④	思いやりの心が育っている。	H26	35	60	5	0
		H27	37	55	8	0
⑤	体力や運動能力が向上している。	H26	22	45	33	0
		H27	17	57	22	4

裏に続く

こちらと昨年度と比較すると大きな変化はありませんが、『学校経営に関すること』に比べ、「A」の数値が低いようです。特に「体力や運動能力」については、「A」が低く「B」評価の数値が高くなっています。昨年完成した体育館も含め、運動する機会も多くなっていますが、肥満や不規則な生活習慣の問題もあるのではないかと考えています。ご家庭と協力して運動面の充実を図りたいと思います。3学期はなわとびを中心に体力向上に努めていきます。



「あいさつや返事」についてはよい評価をいただきましたが、一方で「バス通学の児童へのあいさつ指導を行ってほしい」というご意見がありました。登校の様子を見ると、少ない人数ではありますが、あいさつをする習慣が身につけていない子どももまだおります。地域のみなさんや他校の先生など、すべての人に笑顔であいさつができるように、引き続きがんばりたいと思います。

「家庭学習をがんばっている」は、伸び悩んでいます。避難生活が長期にわたることや小高区教育施設再開などの動きにより、学ぶことへの興味が持続しなくなっているのではないかと心配しています。進級、進学、就職といった今後を考えると、学び続ける姿勢は大変重要です。「家庭学習と相まって学力も伸びる」と期待されますので、学校と共に子どもたちをばげましていただければありがたいと思います。

Ⅲ 保護者に関すること			A	B	C	D
①	学校行事や授業参観に進んで参加している。	H26	45	50	5	0
		H27	39	57	4	0
②	子どもの様子に変化が見られたとき学校に連絡している。	H26	38	53	7	2
		H27	37	45	18	0
③	子どもから学校での話をよく聞いている。	H26	48	42	8	2
		H27	43	37	20	0

昨年度もお伝えしましたが、長期にわたる避難生活の中で、学校行事や授業参観に参加して子どもたちのために頑張ってくださいしている保護者の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

設問の「子どもの様子に変化が見られた時に学校に連絡している。」では「C」の割合が増えています。『保護者に関すること』の結果も、小高区教育施設再開の動きと関連しているのかもしれませんが、しかし、子どもたちに実施したアンケートを見ると「困ったときは先生方に相談しますか」という問いでは、逆に「A」「B」の割合が高くなっています。

学校では、子どもたちに向き合いさまざまな話を子どもたちから聞く機会を大切にしています。話すことで、自分を客観的に見たり他人の考え方を知ったりする機会が生まれますので、ぜひ、ご家庭でも子どもたちの話に積極的に耳を傾けていただければありがたいと思います。

租税教室



1億円を実感

消費税が話題となっていますが、6年生も税について学ぶ機会がありました。9日（水）に行われた「租税教室」です。税のしくみや使われ方などを学ぶものですが、公共の施設や国民の福祉のために使われていることがわかり、国税という言葉の意味についても質問し、考えを深めたようです。